

おぢや

市議会だより



OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 80

28. 4. 25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505



平成28年3月13日(日) 山谷・坪野スポーツ親交会

山谷・坪野スポーツ親交会

中越地震の翌年に正式に山谷・坪野スポーツ親交会として発足しました。陸上・水泳・クロスカントリースキーを中心に活動し、各種大会に参加しています。地域内外の小学1年生から6年生までの会員20名と地域の指導者やOB、保護者も一緒になって活動や大会に参加しています。年に数回の親睦会も楽しみな活動のひとつです。

- 第1回定例会議決結果 … P2~3
- 常任委員会報告 …… P3~5
- 一般質問 …………… P5~9
- 議会日誌 …………… P10
- 雪あかり・編集後記 …… P10

—主な掲載内容—

第 1 回 定例会 議決結果（2月29日から3月18日まで開催）

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果		
条 例	議案第12号	小千谷市行政不服審査法施行条例の制定	全会一致	原案可決	
	議案第13号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	〃	〃	
	議案第14号	小千谷市職員の退職管理に関する条例の制定	〃	〃	
	議案第15号	小千谷市褒賞条例の一部改正	〃	〃	
	議案第16号	小千谷市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正	〃	〃	
	議案第17号	小千谷市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	〃	〃	
	議案第18号	小千谷市職員の育児休業等に関する条例の一部改正	〃	〃	
	議案第19号	小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	賛成多数	〃	
	議案第20号	小千谷市長、副市長及び教育長の給与額並びにその支給に関する条例の一部改正	〃	〃	
	議案第21号	小千谷市職員の給与に関する条例の一部改正	全会一致	〃	
	議案第22号	小千谷市国民健康保険税条例の一部改正	〃	〃	
	議案第23号	小千谷市手数料条例の一部改正	〃	〃	
	議案第24号	小千谷市立保育園条例の一部改正	〃	〃	
	議案第25号	小千谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	賛成多数	〃	
	議案第26号	小千谷市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	全会一致	〃	
	議案第27号	小千谷市公営企業の設置等に関する条例の一部改正	〃	〃	
	議案第28号	小千谷市下水道条例の一部改正	〃	〃	
	議案第29号	小千谷市農業集落排水処理施設条例の一部改正	〃	〃	
	議案第30号	小千谷市火災予防条例の一部改正	〃	〃	
	議案第31号	小千谷市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	〃	〃	
	予 算	議案第1号	平成28年度小千谷市一般会計予算	賛成多数	〃
		議案第2号	平成28年度小千谷市国民健康保険特別会計予算	〃	〃
		議案第3号	平成28年度小千谷市介護保険特別会計予算	〃	〃
		議案第4号	平成28年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算	〃	〃
		議案第5号	平成28年度小千谷市工業団地事業特別会計予算	全会一致	〃
		議案第6号	平成28年度小千谷市ガス事業会計予算	〃	〃
		議案第7号	平成28年度小千谷市水道事業会計予算	〃	〃
		議案第8号	平成28年度小千谷市工業用水道事業会計予算	〃	〃
		議案第9号	平成28年度小千谷市下水道事業会計予算	〃	〃
		議案第32号	平成27年度小千谷市一般会計補正予算（第4号）	〃	〃
		議案第33号	平成27年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	〃	〃
議案第34号		平成27年度小千谷市介護保険特別会計補正予算（第3号）	〃	〃	
議案第35号		平成27年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	〃	〃	
議案第36号		平成27年度小千谷市ガス事業会計補正予算（第2号）	〃	〃	
議案第37号		平成27年度小千谷市水道事業会計補正予算（第2号）	〃	〃	
議案第38号		平成27年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算（第2号）	〃	〃	
議案第39号		平成27年度小千谷市下水道事業会計補正予算（第2号）	〃	〃	
その他		議案第10号	専決処分〔小千谷市税条例の一部改正の一部改正〕	全会一致	承認
		議案第11号	専決処分〔小千谷市国民健康保険税条例の一部改正の廃止〕	〃	〃
	議案第40号	小千谷市財政調整積立金の処分	〃	原案可決	
	議案第41号	定住自立圏形成に関する協定の変更	〃	〃	

議案番号等		議 件 名	議決状況	議決結果
その他	議案第42号	魚沼地区障害福祉組合規約の変更	全会一致	原案可決
	議案第43号	魚沼地域胃集団検診協議会規約の変更	〃	〃
	議案第44号	魚沼地域胃集団検診協議会の廃止	〃	〃
	議案第45号	小千谷市営土地改良事業（災害復旧）の施行	〃	〃
	議案第46号	小千谷市教育委員会委員の任命〔関 暁氏〕	〃	同意
発 議	発議案第1号	小千谷市議会会議規則の一部改正	全会一致	原案可決
	発議案第2号	一級河川茶郷川の改修促進を求める決議	〃	〃
	発議案第3号	安保法制の廃止を求める意見書	賛成少数	否 決
	発議案第4号	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防及びその危険性や予後の相談可能な 窓口などの設置を求める意見書	全会一致	原案可決

議員賛否の状況（採決において賛否が分かれたもの）

議案番号等	議決結果	賛	反	森本恵理子	住安康一	駒井和彦	大矢弘光	佐藤栄作	上村行雄	内山博志	佐藤隆一	長谷川有理	阿部正行	久保田陽一	山賀一雄	田中淳	本田剛	久保田久栄	風間順一	
議案第1号	原案可決	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第2号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第3号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第4号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第19号	〃	13	2	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第20号	〃	13	2	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第25号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
発議案第3号	否 決	4	11	×	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	-	×	

※ ○は賛成、×は反対、議長（久保田久栄）は採決に加わりません。

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案26件のうち24件は総務文教委員会単独で、2件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第12号 小千谷市行政不服審査法施行条例の制定について

本案は、行政不服審査法の規定に基づき設置する小千谷市行政不服審査会について、必要な事項を定めるものです。

○議案第13号 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

本案は、改正された行政不服審査法の施行に伴い、改正が必要となる小千谷市情報公開条例ほか7条例を一括して改正するものです。

○議案第14号 小千谷市職員の退職管理に関する条例の制定について

本案は、地方公務員法の改正に伴い職員の退職管理に必要事項を定めるものです。

○議案第15号 小千谷市褒賞条

例の一部を改正する条例の制定について

本案は、褒賞の対象に教育長を加えるものです。

○議案第16号 小千谷市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方公務員法及び行政不服審査法の改正に伴い、職員の人事評価の状況等の報告事項の追加と用語の改正をするものです。

○議案第17号 小千谷市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方公務員法及び学校教育法の改正に伴い、必要な整理をするものです。

○議案第18号 小千谷市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方公務員法の改正に伴い、育児休業をした職員の職務復帰後における号給の調整について改正するものです。

○議案第19号 小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第20号 小千谷市長、副

民生産業委員会

本委員会に付託されました議案11件について、慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第22号 小千谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、国民健康保険給付準備基金残額の調整を目的として、27年度に引き続き28年度も基礎課税額の医療費分における世帯別平等割額を減額するものです。

○議案第24号 小千谷市立保育園条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、職業能力開発促進法の改正により、同法から引用している条番号を改めるものです。また児童福祉法の改正により、保育料の徴収に関する規定を改正するものです。

○議案第25号 小千谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

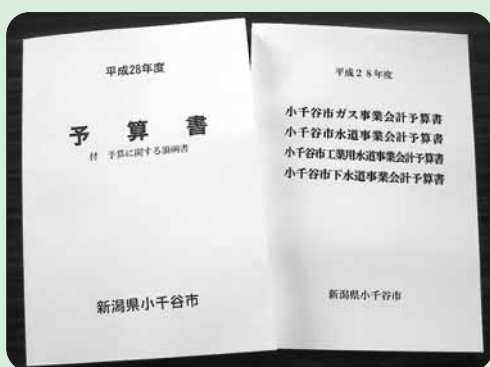
本案は、国の家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正により、保育士の配置基準の要件が緩和されることに伴い改正するものです。

谷市工業用水道事業会計予算について

年間総給水量は、前年度と比較して、2・5%の減。収益的収入及び支出の収支差引額は、1457万2千円を見込んでおり、主要な事業としては、取水設備更新工事、浄水設備更新工事が計上されております。

○議案第9号 平成28年度小千谷市下水道事業会計予算について

年間総排水量は、前年度と比較して0・2%の減。収益的収入及び支出の収支差引差額は4億6786万3千円を見込んでおり、主要な事業としては、汚水管渠布設工事、公共下水道接続工事、処理場機械設備更新工事が計上されております。



谷市工業用水道事業会計補正予算(2号)について

○議案第39号 平成27年度小千谷市下水道事業会計補正予算(2号)について

以上の4議案は、いずれも職員人件費を増額するものです。

○議案第1号 平成28年度小千谷市一般会計予算について

本案は、前年度と比較して10・2%の増額で、歳入歳出それぞれ193億1千万円とするものです。

○議案第6号 平成28年度小千谷市ガス事業会計予算について

ガスの年間供給量は、前年度と比較して1・3%の減。収益的収入及び支出の収支差引額は8539万6千円の赤字計上であります。主要な事業としては、導管布設及び布設替工事が計上されております。

○議案第7号 平成28年度小千谷市水道事業会計予算について

年間総給水量は、前年度と比較して1・1%の減。収益的収入及び支出の収支差引額は1億4490万4千円を見込んでおり、主要な事業としては、配水管布設及び布設替工事、浄水場建設工事が計上されております。

○議案第8号 平成28年度小千

区域に接続することに伴い改正するものです。

○議案第30号 小千谷市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、国の省令の改正が公布され、対象火気設備、器具にガスグリドル付こんろと電磁誘導加熱式調理器が追加されたことにより改正するものです。

○議案第31号 小千谷市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、消防力の整備指針及び消防水利の基準の改正及び消防団の体制等の見直しに伴い改正するものです。

○議案第32号 平成27年度小千谷市一般会計補正予算(第4号)について

今回の補正は歳入歳出それぞれ3434万2千円を追加し歳入歳出それぞれ175億9798万1千円とするものです。

○議案第36号 平成27年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第2号)について

○議案第37号 平成27年度小千谷市水道事業会計補正予算(第2号)について

○議案第38号 平成27年度小千

市長及び教育長の給与額並びにその支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

以上の2議案は、それぞれ期末手当の支給率及び報酬を引き上げるものです。

○議案21号 小千谷市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、人事院勧告に伴う職員の給与の引き上げ等の改正をするものです。

○議案第23号 小千谷市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、火薬類取締法の規則に関する事務を行うため、申請手数料等を規定するものです。

○議案第27号 小千谷市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、下水道事業の排水区域等を変更するものです。

○議案第28号 小千谷市下水道条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第29号 小千谷市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について

以上の2議案は、いずれも鴻野谷地区農業集落排水処理施設の山谷処理区を公共下水道排水

区域に接続することに伴い改正するものです。

○議案第26号 小千谷市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、介護保険制度の改正により、新潟県が指定している通所介護サービスのうち、小規模のものが地域密着型通所介護として市町村の指定に移行することに伴い改正するものです。

○議案第33号 平成27年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

本案は、歳出は職員人件費の増額、歳入は一般会計からの保険基金安定繰入金増額並びに財源調整のために給付準備基金繰入金を減額するものです。

○議案第34号 平成27年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)について

○議案第35号 平成27年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について

以上2議案は、いずれも職員人件費を増額するものです。

○議案第2号 平成28年度小千谷市国民健康保険特別会計予算について

本案は、前年度と比較して3.4%減の、歳入歳出の総額を42

億4899万4千円とするものです。

○議案第3号 平成28年度小千谷市介護保険特別会計予算について

本案は、前年度と比較して2.0%増の、歳入歳出の総額を39億4191万円とし、債務負担行為を定めるものです。

○議案第4号 平成28年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算について

本案は、前年度と比較して2.3%増の、歳入歳出の総額を7億2871万円とするものです。

○議案第5号 平成28年度小千谷市工業団地事業特別会計予算について

本案は、前年度と同額の、歳入歳出の総額を61万円とするものです。



市政の内容を聞く

一般質問

農政改革、農業委員会制度改革について

風間 順一 議員

質問 「水田フル活用」への支援や指導はどうか。

答弁 飼料用米等の作物を生産する農業者に対して直接支払交付金や産地交付金を交付している。更に進めるには、需要に即した多様な米の生産を進めることが必要であると考える。

質問 「多面的機能支払交付金」の取り組みについて伺う。

答弁 27年度の取り組み面積は農振農用地面積2565ヘクタールのうち1437ヘクタールで56%となる。取り組みのされない地区には農家組合長会議で事業の周知を行い、JAと連携し取り組みを推進する。

質問 農業委員会改革で公選制から市長の選任制に変わるが。

答弁 早めに議論や広報、周知ができるよう取り組む。

質問 農地利用最適化推進委員の委員数や予算措置について

答弁 100ヘクタールにつき1人の割合となっており委員数の上限は33人となる見込み。予算措置等は適切に準備を進める。

質問 推進委員に女性の視点も大切と思うがどうか。

答弁 農業委員会法にあるとおり年齢や性別に著しい偏りがないよう配慮する。



AEDコンビニ設置と障害者差別解消法と教育

住安 康一 議員

質問 AEDコンビニ設置について

24時間営業のコンビニにAEDの設置をすべき。

答弁 市独自の対応は行わない。

質問 AEDを含めた講習会参加者に、健康ポイント事業の健康ポイントを与えてはどうか。

答弁 対象とは考えていない。



江さらい前の用水路

4月施行の障害者差別解消法について

質問 障がい者目線が大事。障がいのある方及びその保護者の方からの意見を聞き、職員対応要領等に反映させるべき。

答弁 小千谷市地域自立支援協議会で説明し、意見を伺い、障がいのある人等の意見を反映。

質問 各課や各施設においても多様かつ個性の高い独自の対応が必要。独自のものを作成すべき。

答弁 各課や施設ごとには作成せず、全職員が「いたわりと真心」をもってお客様と接したい。

質問 合理的配慮において、多額の費用を要する場合については、どのように対応するのか。

答弁 必要性を見極めたうえで計画的に行われるべきと考える。

質問 総合教育会議について、市長としてどのような会議を目指すのか。また、小千谷市の教育にどのように関わるのか。

答弁 基本的には「おぢやっ子教育プラン」等を尊重しながら、教育課題等の解消に向けた取り組みを行う。

質問 意見を聴くことが適当と判断した場合には、適切に対応。

質問 キャリア教育について、担当者の負担軽減のため、担当窓口の一本化を図るべき。

教育長答弁 時間をかけて検討。

新病院と国保短期証・資格証明書について

佐藤 隆一 議員

質問 新小千谷総合病院について

質問 新病院建設での新潟県厚生連との確認事項及び統合支援室廃止の経緯について伺います。

答弁 地権者交渉、事業認定申請事務等への支援を行い、「病院連携室」(保健福祉課)に引き継いだものです。

質問 病児・病後児保育実施にあたって、厚生連との連携などどのような課題があると考えていますか。

答弁 重要な課題と考えており、実施に向け独自に取り組みたい。保育士や看護師の配置、医師との連携が必要となり、新病院内には設置が予定されておりませんが、厚生連と協議しながら、小千谷市独自で実施したい。

質問 新病院の診療体制と今後の財政支援計画の見通しは。

答弁 21診療科、300床で開院する予定で、28年度は15億円、その後10年間で10億円を運営費として支援する予定です。

質問 国保短期被保険者証、資格証明書について

質問 国保収納率の推移と短期被保険者証・資格証明書制度の現状と検証結果、運用の見直しについて伺います。

答弁 新潟県地方税徴収機構が設置されて以降は、96〜97%で推移しています。

質問 短期証、特に資格証明書は安易な交付を戒めており、財政支援の縮小が問題。

答弁 資格証明書の交付は1月末現在27世帯で、安易な交付はしていない。

TPPと財政について

阿部 正行 議員

質問 TPPについて

質問 米・野菜への影響は。

答弁 米について輸入が拡大すれば価格の下落が懸念されるが、政府備蓄米で対応するので影響

はない。野菜はトマトを除き詳細なデータがないのでわからない。トマトについての影響は限定的である。

質問 食の安全について。

答弁 政府の総合的な施策により食の安全安心が脅かされることはない。問題が出たら速やかに市民に周知する。

質問 産業界への対応について。

答弁 農業分野ではマイナスの懸念もあるが全体にはプラスになるのではないかと。悪影響のときは国に対応を求めます。

質問 行政対応と関係団体との連携について。

答弁 昨年政府において大筋合意に至り、国、県と共に対応を検討し市内の関係団体と情報の共有化を図っていく。

質問 財政について

質問 財政の認識について。

答弁 財政指標の各数値はいずれも良好であり第五次総合計画により人口減少対策、新病院の支援等良好な財政状況を維持しながら取り組んでいく。

質問 財政規模について。

答弁 歳入歳出を見極め、身の丈にあった財政運営を心がける。

質問 投資的経費について。

答弁 公共事業であるが、国県

の補助金、有利な起債等将来負担を考慮しながら取り組む。

質問 行政改革について。

答弁 健全な財政運営を実現し民間活用を促進する。

新病院・公契約とコンプライアンスについて

長谷川有理 議員

質問 新病院について

質問 新病院開院までの流れは。

答弁 事業資産を厚生連に譲渡する小千谷総合病院は平成28年度末の法人解散に向けた事務を進める。本年3月中旬に職員に再就職の条件を提示し、希望を聴取する。厚生連は医師確保に精力的に大学等へお願いしており、新年度に市長も同行する。

質問 必要医師数・看護師数は市として把握しているのか。

答弁 情報を持っていない。

質問 新病院内に食堂やJAの売店、院内保育園、病児病後児保育等の設置を、市として働きかけはしなかったのか。

答弁 平成25年3月に要望書を提出したが、食堂、院内保育園は厚生連から設置しないと回答。

病児・病後児保育施設は今後も協議を行ってまいりたい。

質問 新病院に対し小千谷の医療を守る会など市民を中心とした応援団の設置を市の支援で。

答弁 厚生連の意向も伺いながら、検討してまいりたい。

質問 小千谷総合病院の解散、清算の流れはどうなるのか。

答弁 平成28年度末の事業譲渡後、平成29年4月に解散の届け出。7月に残余財産の確定・引渡し、9月に清算完了登記等を予定。解散・清算に市の財政的な支援は、今のところ考えていない。

質問 魚沼病院の跡地利用は。

答弁 厚生連が内部で検討中。

公契約とコンプライアンス

質問 市が公契約、助成金、補助金支給の企業・団体が法令違反した場合、事後の契約及び助成金等の返金・打ち切りは。

答弁 違反の内容を照らし合わせ、該当する場合はそうなる。

質問 公契約

条例の制定を。

答弁 現在は考えていない。



キャリア教育・新病院開院について

森本恵理子 議員

キャリア教育について

質問 中学生を対象に地域の産業や企業を理解する機会として行われた「おぢや仕事未来塾」は、感受性豊かで柔軟な考え方ができる時期に小千谷の産業に触れることのできる素晴らしい試みだと認識している。今後拡充の予定は。

答弁 出展企業や業種を増やすなど更なる取り組みを行っている。

質問 サンプラザにある鉄工電子関連の常設展示を子どもたちがわかりやすく学べる場にしてどうか。

答弁 今後、検討していく。

質問 コミュニティバスや既存路線バスの路線変更や市内循環バスの導入など抜本的に見直すときが来ているのではないか。

答弁 平成29年4月に向けて関係機関等と協議を進めている。

質問 病院跡地の核にする施設は図書館なのか。

答弁 西小千谷地区市街地まち

づくり基本計画検討委員会が深い議論を尽くした結果であると認識しているので、尊重する。

質問 全天候型の子どもの遊び場の設置について、実現に向けて前向きに検討すべきではないか。図書館機能を有するのなら、子どもの遊び場を併設することにより小さい頃から子どもを本に親しませることができる。

また市民の多くが色々な想いを抱く病院跡地だからこそ、小千谷の未来を支える子どもたち

の笑い声が溢れる機能を有するということがふさわしいのではないか。

答弁 子どもの遊び場のよう

に総合計画で検討課題としている機能は、跡地活用の中だけでなく、幅広く検討していく。



子どもの笑顔に溢れるまに

子育て支援、原発避難計画、国保税

内山 博志 議員

質問 高校卒業まで医療費助成

を拡大してほしいという切実な声がある。中学校卒業まで助成している医療費助成を高校卒業まで拡大してもプラス1千数百万円でも実現できる。無料化でも総額1億1700万円ほどで可能だ。助成を拡大する考えはあるか。

答弁 子育て支援策の拡充については、保育環境の充実を中心に新年度予算で計上した。医療費の問題は、国として拡充すべきと新潟県市長会として国に要望している。

質問 課題を多く残したままの原子力災害に備えた小千谷市広域避難計画だ。高浜原発の運転を停止させた仮処分決定を下した大津地裁は、福島第一原発事故の原因究明が徹底して行われていないもとで新基準に適合したとしても安全とは言えないなど停止の理由を述べている。避難計画が不十分な中で原発の再稼働など論外だ。再稼働しないように市長として言うべきではないか。

答弁 原子力政策は、国のエネルギー政策として推進してきた。国民的議論を尽くし、国の責任で必要な措置を講ずるべきだ。議論が煮詰まってきたら考える。

質問 国保税は高すぎるとい

悲鳴が市民から上がっている。国保会計の給付準備基金約2億6千万円を9千万円ほど減額しても国保税を1人年間1万円は下げられると思うが下げる考えはあるか。ほとんど基金を残さないで税金を安くしている自治体がある。

答弁 国保会計が支払い困難になつたという経験はないが、医療給付額1か月約1億5千万の1・5か月分の2億6千万円程度は妥当と考える。

日本語教育・ふるさと学習、空き校舎の活用について

久保田陽一 議員

質問 小・中学校での日本語能力欠如による問題などの現況は

教育長答弁 急速なSNSの普及や情報化社会の中で、当市の児童生徒もその影響を受けていると考えるが、学校現場では教科ごとの言語活動の充実などに



より、言葉の乱れなどについて特に困っているという報告は受けていない。

質問 日本語科をどう認識し評価しているのか。

教育長答弁 子どもたちが日本語を正しく使い、言葉に対する興味・関心や日本の文化の理解を深めることは重要なことだと考えるが、文部科学省の許可を得る必要や、ふるさと学習など総合的な学習の時間を減らさなくてはならず、日本語の教科化は難しいと評価する。

質問 日本語科の導入や同様な教育の実践が必要では。

教育長答弁 日本語科の導入は考えていない。「おちやつ子教育プラン」に基づき、日本語にかかわる学習とふるさと学習を関連付けて学習することで「心豊かにたくましく生きる小千谷の子ども」の具現を目指したい。

質問 旧川井・真人小学校の利活用に関する経緯と進捗状況は。

教育長答弁 文部科学省が開設している「みんなの廃校」プロジェクトのホームページに掲載し、情報提供を行っている。これにより県内企業から数件の問い合わせがあり現地案内の実績がある。しかし、相手方の要望

と内容が合わず活用には至っていない。

質問 旧川井・真人小学校の利活用が決まった際に避難所として利用できるのか。

答弁 利用方法が決定した時点で避難所に適した施設であるか検討し、利用者と協議する。



施策実施体制・保育士不足・新病院の今後

駒井 和彦 議員

質問 地方創生事業等に係る新たな制度、政策が生まれ職員の業務が増大している。行政サービスの質は落とせない中で、総合戦略等の施策の効率的実施について、機構改革も含め職員の適正配置はどうか。

答弁 日頃から業務の見直し・改善を行い、業務量の適正化に努め、社会情勢や市民ニーズに対応した機構改革や、再任用制度等複合的に活用しながら、職員の適正配置に努め、施策の効率的実施に対応していく。

質問 国の新制度により3歳児の配置基準が現行15対1から20対1とする配置が可能となったが、当市もその趣旨に沿って取り組みを進めるべきでは。

答弁 現段階では国の配置基準が改正されていない。当市においては11園中2園で2人足りない。全国的に保育資格者確保は困難だが、引き続き安心安全な質の高い保育サービスを提供したい。

質問 新病院について、開院時にスタッフが充足する見込みはあるか。

答弁 現時点で申し上げられない。

質問 事務職、技術職、看護職のスムーズな業務移行、統合スケジュールは具体的に決まっているか。

答弁 市として正式に聞いてはいるが、現在、両病院の職員で部門ごとのプロジェクトチームを立ち上げ、協議している。

質問 希望者全員が雇用される職場環境は保証されているか。

答弁 厚生連に聞いたところ、原則的には希望者全員を受け入れたいが、採用試験を実施予定であり、希望者全員の雇用が保証されるものではない。

総合計画と行政改革について

山賀 一雄 議員

質問 各分野別計画も総合計画の計画期間に沿うべきではないか。

答弁 法律等の制約がないものは、総合計画と整合を図りたい。

質問 文化施設建設事業の基金積立額と整備計画の考えについて。

答弁 積立額が7億円を超える見込みであるので、施設整備の方針と併せて検討する。

質問 学校給食センターの効率の運営について。

答弁 総合計画に基づき、調理・運搬業務の効率的な運営について検討する。

質問 工業団地造成事業を特別会計で実施する効果について。

答弁 予算・決算の公表を通じて財務状況が理解されることなど、経理の優位性が考えられる。

質問 茶郷川改修整備促進では、国、県、市の連携が不可欠と考えるが、見解はどうか。

答弁 河川整備計画の早期策定には、国、県との連携は重要であり、協力的体制の強化に努める。

質問 財源の確保、税の公平の観点から、都市計画税の賦課地域見直しが必要と考えるが、見解はどうか。

答弁 街路整備事業など今後、想定される対象事業と課税区域との整合の点から検討を重ねていく。

質問 P D C A サイクルをどのように定着させるのか

答弁 職員一人ひとりが意識し、自発的な評価による改善を恒常的に行うことが重要であると認識しており、事業評価、効果のチェック等を新たな計画づくりにおいて、目標達成のために徹底していきたい。

原子力災害に対する避難計画について

田中 淳 議員

質問 避難計画によると、原子

力災害時には、原子力災害対策本部等は市役所本庁舎になっております。庁舎の改修の有無を含め機能に関しお答え願います。

【答弁】 原子力災害時における当市の防護措置は、屋内退避が基本であり、市役所本庁舎に対策本部を設置し、対応することになるが、市役所周辺の空間放射線量が国の基準を超える状況になれば、市役所機能を移転し災害対応業務等を継続することとしている。現在のところ、放射線や放射線物質に対する庁舎の防護措置は考えていない。

【質問】 計画にはバスでの移動手段も明記されており、バス運行会社への補償や運営担保はどこが責任をもつのか。

【答弁】 現在、新潟県の広域避難検討ワーキングチームで、交通事業者への輸送形態、運行範囲などの協力要請内容を検討しているが、指揮・責任・賠償等に係る法制度が明確でないため、現在、新潟県知事が高線量化等での災害対応について原子力規制委員会委員長に対し、法制度の整備を要請している。

【質問】 近隣自治体・同類な自治体の国に対する働きかけや、交付税措置、発電会社の負担につ

いての見解を問う。

【答弁】 議員ご指摘のとおり、当市をはじめとする30km圏内の一部の自治体には財政支援もないので、関係する近隣自治体と情報交換のうえ、時期を見極めながら、交付税措置や発電事業者に対し経費負担について要望していきたいと考えている。



子育て支援・工業団地造成計画について

本田 剛 議員

【質問】 当市において保育料は8段階に分かれているが、子育て世帯の負担を軽減するため、今後保育料を見直す考えはあるのか。

【答弁】 子育て世帯の経済的負担の軽減を国の徴収基準に対し、

平成26年度に平均30・16%行っている。認定こども園の保育料については28年度に引き下げを予定している。

【質問】 県内他市町村では出産祝い金制度を実施しているところもある。当市もこういう制度を導入すれば人口減少問題対策で人口増にもつながるのではないかと。子育て支援として創設する考えはあるか。

【答弁】 出産祝い金制度の是非を結論付けることは出来ないが、出産した後も暮らし続けるよう総合的な対応策は引き続き検討する。

【質問】 人口減少が叫ばれている中、市外の企業を呼ぶため県外及び市外企業に積極的に出向き誘致活動を行ってほしい。それには工業団地を整備し、立地環境をアピールはできないものか。造成計画で企業誘致の考えはないか。

【答弁】 新たな工業団地造成事業については、企業誘致とともに市内企業の事業拡大に伴う市外への流出を防ぐためにも造成候補地の検討を進める。立地環境とともに当市の優遇制度や補助金制度をアピールし、営業活動を行っていく。

会議録の閲覧

市議会本会議の会議録（平成15年第1回定例会以降）は市ホームページからご覧いただけます。

パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。

（平成28年第1回定例会の会議録掲載は、5月末頃となります。）

一般質問等の詳細はこちらをご覧ください。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>



議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。

本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。

（録画映像は本会議終了後、通常、休日（土日・祝祭日等）を除く5日後から1年間ご覧いただけます。）

パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>



〈1月〉

- 7日 議会報編集委員会
- 13日 議会報編集委員会
- 19日 議員協議会

〃 議員全員協議会

- 28日 千葉県印西市議会行政視察に来市

- 29日 全国市議会議長会国会対策委員会（東京都）

〈2月〉

- 5日 県市議会議長会春季定期総会（柏崎市）
- 10日 全国高速自動車道市議会協議会定期総会（東京都）
- 16日 議員協議会
- 22日 議会運営委員会
- 29日 第1回定例会（本会議）

- 〃 議会報編集委員会

〈3月〉

- 1日 常任委員会連合審査会
- 2日 常任委員会連合審査会
- 3日 常任委員会連合審査会
- 7日 総務文教委員会
- 〃 総務文教委員協議会
- 8日 民生産業委員会
- 15日 議会運営委員会
- 〃 本会議（第2日）
- 16日 本会議（第3日）

- 〃 議会報編集委員会
- 18日 議会運営委員会
- 〃 本会議（第4日）
- 〃 議員全員協議会

- 25日 茨城県常総市議会行政視察に来市

市議会を傍聴してみませんか

第2回定例会開催予定

- 6月6日(月) 第1日 議案上程説明
- 6月7日(火)～9日(木) 各常任委員会で審査
- 6月21日(火) 第2日 一般質問
- 6月22日(水) 予備日 一般質問
(質問者が多い場合に開催)
- 6月24日(金) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局（☎83-3505）へお問い合わせください。委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojya.niigata.jp/>



62



関根 芳美さん
(城内2)

小千谷縮、小千谷紬、片貝木綿など有名な織物の産地に住んでいることに誇りを感じます。

数年前に義母の小千谷縮を身につけ、その魅力に取りつかれました。その後、知れば知るほど「小千谷に嫁にきた私、最高！」と叫びたくなるのです。

例えば、着物雑誌の夏号には小千谷縮を来たモデルさんが多く登場します。特集が組まれ、知り合いの織物関係の方の写真やインタビューが載っていたりします。単衣の時期には、朝ドラヒロインの白岡あさこと波瑠さんが片貝木綿をモダンに着こなしていましたし、小千谷紬は、十日町、塩沢と並び着物通が憧

れる存在です。

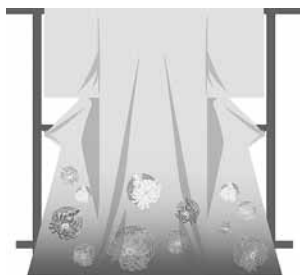
私は最近、初対面の方々との集まりには和服で出かけます。「新潟県小千谷市から来ました」と。

関根です。この着物は小千谷紬です。「なんて自己紹介すると、一発で覚えてもらえます。」

残念なのは、そんな小千谷の街で和服姿を見かけないこと。

私は、着物を着る機会を増やそうと努力していますが、和服の日は「何ごとだ？」という目で見られ、悪目立ちしているようで辛いのです。

特別な日も、そうでない日も、小千谷の街で和服姿が見たいと願う今日この頃です。



編集後記

新年度が始まり一か月近くが、過ぎようとしております。新生活が始まった皆さま、そろそろ新しい環境に慣れてきたころでしょうか。

さて、この4月、5月は心が疲れやすい時期と言われております。ご自身の心のケアだけでなく、皆さまの周りの大切な方々の悩みのサインにいち早く気づけるよう、注意していきたいでしょう。

- ①悩みを抱えたときには誰かに相談しましょう。
- ②悩みを抱えた人の発するサインに気をつけましょう。
- ③サインに気づいたら、声を掛け話を聞いてあげましょう。
- ④早めに身近な相談窓口にご相談しましょう。

特に有効な声掛け方法は、「最近、ぐっすり眠れていませんか?」と聞いてみることでそうです。

眠りは心の健康のバロメーターです。ぐっすり眠って、心も体も毎朝スッキリとりセットして行きましょう。

編集委員 大矢弘光